

詰碁解答 (問題は77頁)

〈正解〉

黒1のキリが急所。以下黒7までびったり仕上げました。

〈失敗〉

黒1のオキがうるさい手ですが、白2のツギが冷静。黒3には白4のコスミで、白が攻め合い勝ちです。

詰将棋解答 (問題は77頁)

〈正解〉

▲2二金△同銀▲3二飛成△同玉▲4三銀△同金▲4一馬までの七手詰め。

〈解説〉

▲2二金捨てが俗で気付きにくい。△1四玉と逃げれば▲1五銀。△同銀に▲3二飛成から▲4三銀の連続捨て駒が本题のテーマ。△2三玉の逃げなら、やはり▲4一馬で詰め。

一般社団法人
全日本建設技術協会
令和3年度理事・監事等構成

会 長 大石 久和

副 会 長 後藤 敏行
小川 富由
小原 恒平
神山 守

理 事 西植 博
安田 吾郎
藤井 元生
高吉 晋吾
小林 秀晃
永澤 親兼
金子 勉
細島 譲
牧野 裕之
棚橋 元
津坂 英司
西出 俊亮
有路 稔
木村 圭策
植村 公彦
野田 主馬

専務理事 泊 宏

常務理事 西成 秀幸

監 事 加藤 利弘
花井 徹夫

編集後記

9月号から新たに「災害発生！そのとき」の連載を開始しました。9月号では仙台市の加藤さんに、東日本大震災の発災時における避難、初期対応、住民対応、下水道施設の復旧などについて、10月号では広島県の森桶さんに、西日本豪雨で寸断した道路の啓開や河川内に堆積した土砂撤去への対応などについて、執筆していただきました。

読者からの感想等を「会員だより」に掲載していますが、これら以外にも多くの声が寄せられており、災害対応に関して全建会員の関心が高いことが伺われます。

さて、3回目の連載となる今号では、元関東地方整備局の堤さんに鬼怒川の堤防決壊時の初動対応について執筆していただきました。鬼怒川のような河川の堤防が決壊した場合、次の出水までに応急復旧を完了させないと、甚大な被害が発生するおそれがあり、正に時間との闘いです。当時、同整備局の本局河川部の幹部だった堤さんは、発災後、中堅・若手職員を伴って現場へ赴き、現地対策本部で指揮を執られました。氾濫した水の排水を行うとともに、延長約200mにわたり決壊した堤防の荒締切工、鋼矢板二重締切工による応急復旧を2週間で完了されました。

全建では、関東地方整備局、堤さんの御協力を頂き、延べ50枚に及ぶ写真にテロップ等を加えて、スライドショーを編集し、約2年前から建設技術講習会の休憩時間に映写しています。堤さんの貴重な経験やそこで得られた教訓は、今号の文章を読むことで学ぶことができますが、応急復旧の具体的な工法やプロセスについては、スライドショーを見ることで視覚的に理解を深めることができます。

建設技術講習会については、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年からは中止することが多いのですが、受講生の皆様にとって有益なものとなるよう、今後とも充実を図ってまいります。(本部事務局)

月刊「建設」編集委員

委員 長 杉中 洋一

副委員長 野坂 周子

菅原 寛明
高原 洋介
大坪 祐紀
森田 裕介
松岡 佳秀
伊藤 直樹

委 員 藤井 佳人

増田 達
里内 俊介
大利 泰文
板倉 舞
松井 大生
道谷 健太郎
猿澤 宗一郎
石川 勝浩

委 員 山本 洸太

中村 允宣
秋山 秀樹
南 彩
河合 功介
吉川 昌孝
永野 収
桑嶋 健
三輪 晴文

(令和3年11月1日現在)

広告掲載に関するお問合せ先
一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 機関誌編集担当
TEL 03 (3585) 4546・FAX 03 (3586) 6640 E-mail: kensetsu@zenken.com

※本誌の内容の全部または一部について、法律で認められた場合を除き、無断で転載・複写等することを禁じます。

第65巻 第11号

発行 一般社団法人 全日本建設技術協会

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7階

TEL: 03 (3585) 4546 FAX: 03 (3586) 6640

URL: http://www.zenken.com/

印刷 大盛印刷株式会社 TEL: 03 (3971) 1246

(発行数59,700部)